

(様式 3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	埼玉県	市町村名	戸田市	大学名	
派遣日	令和6年7月5日(金曜日) 13:00~15:30 第Ⅰ部 講義 13:00~14:00 第Ⅱ部 講義 14:00~15:30				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 派遣 / 遠隔				
派遣場所	戸田市立教育センター				
アドバイザー氏名	築樋 博子				
相談者	戸田市教育委員会 教育政策室 戸田市立教育センター 【第Ⅰ部】戸田市立教育センター日本語指導員 【第Ⅱ部】戸田市立教育センター日本語指導員、日本語指導担当教員				
相談内容	①日本語指導のプログラムとコース設計 ②発達段階による言語習得の特徴 ③具体的なコース設計例と指導例				
派遣者からの指導助言内容	現在、戸田市では、小学校においては主に日本語指導担当教員が中心となって指導を行い、中学校においては、教育センター日本語指導員が中心となって指導を行っている。今回の研修会では、2部構成とし、第1部では経験のある教育センター日本語指導員の更なる指導力向上を目的とし、「中学生の指導」について研修を行った。日本語指導担当教員を加えた第2部では、経験の浅い教員も多いことを踏まえ、「小学生の指導」と「特別の教育課程による日本語指導」について研修を行った。 【主な講座内容】 日本語指導が必要な児童生徒のための指導・支援～子どもたちの明るい未来のため～ 〔第Ⅰ部〕 (1) 日本語指導のプログラムについて モデルケースの表をもとに日本語指導を2年間継続する場合のコース設計例を紹介いただいた。本市も例と同様の毎週2時間程度の指導時間であるため参考となった。 (2) 各プログラムについて 「サバイバル日本語」「日本語基礎」「技能別日本語」「日本語と教科の統合学習」「教科の補習」の各プログラムについて御説明いただいた。本市でも対象者が多い「サバイバル日本語」では「使って使えるようにする」がポイントであるという御指導をいただいた。 (3) コース設計例について(中学2年・マリアさん) 豊橋市の実践も御紹介いただきながら、発達段階による言語習得の特徴や指導の在り方について御指導いただいた。中学生の段階では、理解した日本語を状況に合わせて使用する練習を通して運用力を高めることが重要であることや近年ではコロナ禍				

のときの状況も踏まえ、母国の学習状況の把握も重要であることなどを御助言いただいた。

(4) キャリア教育について

文化間移動をする子どものライフコースの説明の中で、外国人の子どもは国と国との間で、また国内でも言語や文化間を移動しており、その移動が心身の発達過程や社会化に与える影響力が大きいことを御説明いただいた。また、異なる言語・文化環境下において、社会的役割をどのように拡張し、遂行できるか、それを支援することがキャリア教育の重要な要素であることを御指導いただいた。

加えて、職場体験活動の事前学習、事後学習の活動例や高校体験入学の活動例等を御紹介いただき、本市の各中学校においてもすぐに実践につなげられる実践を御示唆いただいた。

[第Ⅱ部]

(1) 「特別の教育課程」による日本語指導の制度の概要について

「特別の教育課程」による日本語指導「個別の学習計画」の作成についてや指導目標の設定について、対象児童生徒のアセスメントについて等を御指導いただいた。また、第Ⅰ部同様モデルケースの表をもとに日本語指導を2年間継続する場合のコース設計例を紹介いただいた。

(2) コース設計例について(小学校1年 エリサさん)

具体例をもとにどのようにコース設計をしていけばよいかについて御指導いただいた。「サバイバル日本語」においては、文字や簡単な単語が母語で読めない場合、日本語の文字の習得にも時間がかかる点を留意することや「日本語基礎」において、幼児期に本に親しむ経験のない子どもには、読み聞かせをするとよいことなどの御助言をいただいた。

(3) 保護者への情報提供について

リーフレット(愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム)や外国人児童・保護者向け動画(文科省「かすたねっと」)、多言語音声翻訳アプリ「Voice T r a」、豊橋市HP「外国人児童生徒教育資料」、教室に用意しておきたい図書等を御紹介いただいた。日本語指導担当教員や日本語指導員だけでなく、各小・中学校にも受け入れ体制の充実につながる御示唆をいただいた。

(4) 文科省「JSL」の考え方について

学習参加のための5つの支援(①理解支援②表現支援③自律支援④情意支援⑤記憶支援)について、リライトの実践例の紹介やアクティブ・ラーニングの視点からの言語活動の実践例の紹介等を踏まえながら、それぞれの支援について御説明いただいた。あわせて、つまずきそうな言葉を予測し、確認することなどは、本市で推進している「RSTを活用した授業改善」にもつながることを御示唆いただいた。

(5) 豊橋市の多様な教材の紹介

豊橋市で作成している「みらいの日本語」をはじめとする多様な教材の実物を御提供いただき、参加者で内容の共有を行った。児童生徒の発達段階に応じて工夫された構成となっており、今後の日本語指導の参考となった。

相談後の方針の変化、今後の取組方針等	本市では、前述のとおり、経験の浅い日本語指導担当教員も多く、日本語指導における「特別の教育課程」の理解やコース設計の望ましい在り方の理解を深めていくことが課題であった。今回、具体的なコース設計例や実践例を交えながら、今後の授業改善、指導力向上につながる御示唆をいただいた。 また、本市では近年、海外からの転入児童生徒が多い状況にあり、教育センター日本語指導の更なるスキルアップが必要となっている。今回、豊橋市の実践や教材を御紹介いただき、中学生という発達段階に応じた指導の在り方やキャリア教育について御示唆いただき、受講者が児童生徒の指導や支援について理解を深めることができた。 今回いただいた御指導を生かし、各日本語指導担当教員や教育センター日本語指導員が適切なコース設計に基づく指導が行えているか、児童生徒の発達段階に応じた指導の工夫がなされているか等を把握し、継続して指導していきたい。また、御紹介いただいた実践例や教材を参考にして、支援体制の充実を図っていきたい。 【受講者感想より】 ・ サバイバル日本語からキャリア教育まで日本語指導の視点から考えつくされたお話を聞くことができ、充実した研修会となりました。定期テストの範囲表からの情報読み取り、職場体験活動のお礼の手紙、中学生の生活日記など取り組んでいることも多く、このような視点でよかったのだと安心しました。限られた時間で効率よく指導ができるよう、教材等の準備をさらに進めていきたいと思います。 ・ 指導がワンパターンになっていたので、作成された教材を拝見し、今後の指導に生かしていけそうだと思います。中学生は日本語だけではなく、進学もあり、その後の社会生活のこともあり、その生徒の先を考えてあげないといけないことも痛感しました。 ・ 指導方法が多々あり、迷うことも多いですが、お話を伺って、自分の中で整理できたように思います。子どもたちに寄り添いつつ、効果的な指導ができるように努めてまいります。 ・ 自校で早速試してみたいものばかりでした。特にデジタル教材はいろいろなものがあり、子どもたちにとっては取り組みやすいものなので、使ってみたいです。 ・ 「各国の教育制度・学校文化ガイド集」は貴重な情報の一つとなりました。他にも指導に直結する具体的な情報や資料をお示しいただき、大変有意義な研修会となりました。
--------------------	---

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。